

2022.9.21 ①

寿都町対話の場(第12回)

日時: 2022年9月21日(水) 18:30~20:35

場所: 寿都町総合文化センター ウズゴム

次第: 海外先進地(フィンランド)の方とリモートで繋ぎ、
現地のこれまでの経緯や背景、現在の様子や
現地の事情などをご講義頂き、その上で
意見交換 質疑応答 ほか

文献調査の結果を
国に報告。今後
地域処分技術WGが
開催(両側)の予定に
なっている

連絡事項など

会員1名が
新しく参加

8/27(土) 泳泳号
イベント実施
⇒70名以上が
来場

六ヶ所視察
10月として調整中

(凡例)

寿都町
対話の場
会員

NUMO

フィンランド
Iウラヨキ町
町長
(ヴェサ=ラカニエミ氏)

2022.9.21 ②

信頼:
40年以上の
対話のみ重ね

科学・技術的知見
が整って、その上での
社会的なプロセス

原子力施設だけでなく
家族・知人
と肌で感じる"安全"

Iウラヨキ
町長

国としての世論
報道

日本における
不安を感じさせる
報道 - フィンランド
では?

原子力の
受容が高い
結果として
Q: どうやってエネルギーを確保

きちんとした
マスメディア対応
の報道もしかり

合意形成

最終処分場の
議論
全国的にや、23の?

誰が議論を
はじめた?
主導している?
(注)

ロヴェーサ^①
Iウラヨキ
他の自治体
自分事にはなっていない!
温度差^②

日本では
Iwaraの関与は少ない
(雇用経済省)
STUKの
信頼も重要
内的信頼

必要なこと

何より

信頼

細かいことでも
やりとり → 安心感

科学者 技術者
調べたもろう
説明してもらおう

開いた対話
"日ごははらあ"

自治体 ^{スタッフ} STUK
説明会
自由に発言
わかりやすく説明

わかるまで
質問
かみこいた答え

町について
(過去からの変化)
含む

2人3人
人口の推移は?

<漁業>
他産業の従事者
はどうか?

(イワウロコ)
9,000人 = 6,000人 + 3,000人
(1人1頭)
小さな増減が大きい

漁業専業 ^(非専業の従事者)
5~6名
農業従事者
方が多い(穀物)

近隣の工場の
勤務者もいる
サーモンの養殖も

地元住民の
意見・考え

住民の受容性
変化してる?
(1999年 59% 賛成)

全国(アンケート)
原子力への受容性
年々 上昇している

地元:
静かに
うたがわれている

安全性

「^{フウチ}地盤安定はどうか
日本では処分の
難しい人が多い
どう思う？」

福島事故 どう思いますか？

「**専門家が**
安全に処分できる
場所がある、と言ってる
ここで処分できるのでは」

事故が起らない
お注意は必要

原子力事故
起す可能性がある
ようにしている。
ストレス、安全文化
多重防護、規制 等...

処分するもの
再処理後の廃液
vs (高レベル
固体化)
使用者燃料
どう思う？ どう思う？

「民主主義の
反対の人もいるか」
議論主体。
(<sup>どっちが
専門家か</sup>専門家含め(何は))

多様な主体間の
議論の結果、
直接処分に決まる

感想

若い人にもっと
ためる
取り組みを！

ハルシキ
反対の人も
知らない人も...

今からはじめなきゃ
核の正処分
マジ討論
~20代の私たちが考えたいこと~
@ Youtube

フィンランドの話
持ち帰って
討論 <sup>(<sup>どっち
か</sup>)</sup>

一部の学生
とんぼに地層処分
知らないのに
賛成？ 異和感

⇒ 今後理解活動
(教育も含め)
もっとがんばる